NPO 法人横浜日独協会　第 19 回理事会議事録

１．日　　時　　2018 年 12 月 9 日（日）10：30～11:30
２．会　　場　　横浜ヒルサイドガーデン（クリスマス会会場にて）
３．理事総数　　21 名≪出席 18 名　≪欠席 3 名≫
４．出席者　　早瀬会長、能登副会長、向井副会長、坂井常務理事、小島常務理事、南雲常務理事、山口常務理事、齊藤常務理事、黒崎理事、大久保理事、磯貝理事、佐藤理事、中尾理事、寺澤理事、大堀理事
議長委任：ユーデック理事、神永理事、藤田理事
欠席理事：ゼーリヒ理事、成川理事、山岸理事
（運営委員：大治委員）

５.議題
(1)　第 1 号議案　報告事項について
(2)　第 2 号議案　例会・行事予定について
(3)　第 3 号議案　創立 10 周年記念事業に向けての提言について
(4)　第 4 号議案　現役員・運営委員への寄附金の依頼について
(5)　第 5 号議案　名誉顧問に係わる定款改正（第 3 回定時総会予定議案）について
(6)　第 6 号議案　その他

６.議事の経過の概要及び議決の結果

定款第 33 条の定めにより早瀬会長が議長にあたる。

議長より議事録署名人の選任について、出席理事にはかったところ議長一任との意見があり、早瀬会長ならびに能登副会長、向井副会長を推薦することを提案し、満場一致で承認され、続いて上記 6 議案の審議を行った。

第 1 号議案　報告事項について

① 会員実績：個人 195 名（内ＹＣ35 名）、法人 12 社　　合計 207 名

② 資金状況：283,161（普通預金 281,661 円、電話加入権 1,500 円）

関連参考資料にて協会の財政状況の報告があった。今年度だけをみても年度内の収入がなければ経常経費支出でほぼ現資金を使い切ってしまう。来年１月以降、例会を除く諸事業の協会支出を極力抑える必要がある。また、寄附金の呼びかけとともに、当協会会費の値上げも検討課題にあがっている。（齊藤事務局長）

・本年度末までの 4 ヶ月間の経常経費計算書と収支見込額
・前年度との本年度（11 月末日まで）との科目別比較収支計算書
・2010 年度（協会創立年度当時）より本年度までの収支計算書一覧表

③ 会報／ＨＰ:1 月新年号の法人会員紹介は「モトスミ・ブレーメン商店街振興組合」

を予定。次々号 3/4 月号には「ボッシュ・ジャパン」に原稿依頼予定。（向井副会長）

④ 事業実績（予定）報告：

・11/29 戸塚泉栄工業会地域活性化情報交換会に齊藤事務局長が出席。ものづくりを担う中小企業中心の工業会は市内に 10 カ所あり、IDEC・JDGY 中小企業支援セミナーの開催にあたってはそれぞれの当該工業会事務局に広報の依頼をすると PR 効果は広がると思われる。（齊藤事務局長）

・12/8 都筑区「Weihnachtsmarkt 2018」（横浜日独協会も後援団体・センター北駅前広場にて開催）、早瀬会長他オープニングセレモニーに参加。従来毎回参加の横浜市国際局長、今回は不参加だった。フォン・ヴェアテルン大使、ドイツ学園のシュリンプ新校長等が挨拶に立った。（早瀬会長）

以上、報告事項について全理事一致して承認された。

第 2 号議案　例会・行事予定について

12 月理事会（第 19 回）：12 月 9 日（日）10:30～11:30（クリスマス会場にて）

クリスマス会：12 月 9 日（日）11：30～15：00「横浜ヒルサイドガーデン」

（みなとみらい線元町・中華街驛下車徒歩 3 分）

2019 年 1 月理事会（第 20 回）：2019 年 1 月 19 日（土）13:00～14:30

戸塚区民文化センター3 階多目的室（中）

1 月例会：2019 年 1 月 19 日(土)15:00～17:00 戸塚区民文化センター3 階多目的室(中)

講師：ドイツ大使館フィーツェ首席公使

「激動のドイツ政治情勢の行方」（仮題）

2 月理事会（第 21 回）：2019 年 2 月 23 日（土）13:00～14:30

戸塚区民センター4 階練習室①

2 月例会：2 月 23 日(土) 15:00～17:00 戸塚区民センター4 階練習室①

講師：G・ロエル　NRW 州公社ジャパン社長

「NRW 州から見たドイツ／EU は？」

3 月理事会（第 22 回）：2019 年 3 月　日時未定

3 月例会：3 月（候補日 3/17、21 及び 24 で調整中！）

内容は武田章寛 YC 会員によるトーク・コンサーを行う。

4 月理事会（第 23 回）：2019 年 4 月 20 日（土）13:00～14:30 場所未定

4 月例会：2019 年 4 月 20 日（土）15:00～17:00 場所未定

当協会の大野眞理子会員の講演を予定している。

第 3 回定時総会：2019 年 5 月 18 日（土）13:00～14：30

5 月例会：（講師人選中）　（以上、能登副会長）

以上、例会・行事予定について全理事一致して承認された。

第 3 号議案　創立 10 周年記念事業に向けての提言について

小島常務理事より、去る 11/26 準備会の下部となる小委員会が開かれ、記念事業の財政面の課題について話し合われたことが報告された。参加者は能登副会長向井副会長、小島常務理事及び齊藤事務局長。第 1 号議案に関連資料を提示しだが、財政関連資料の作成並びに今年度の財政面への対応等が課題だった。今後も引き続き当委員会では記念事業に向け、また協会の中長期的財政面のシミュレーション等を検討していくことが報告された。

南雲常務理事より、当協会が企画している茶会と同じ趣向のイベントが他団体ではあるが来る 4 月 29 日三渓園で行われる。理事各位には、参加して参考として欲しいとの紹介があった。（チケット 6,000 円は南雲常務理事が若干確保している。）

早瀬会長より、三渓園の予約の都合から日程決定の提案があり、協議の結果、当協会創立記念日でもある 2020 年 10 月 16 日（金）に茶会を行うこととなった。基調講演者のシュタンツェル前大使・独日協会会長の訪日については、引き続き会長が調整にあたるが、日程は 2020 年 10 月 17 日（土）で仮設定する。また、過去の 3 周年、５周年の企画内容を参照に、プログラム、出演者や会場の候補等で役員各位の意見を引き続き求めていくとことが報告された。

以上、創立 10 周年記念事業に向けての提言について全理事一致して承認された。

第 4 号議案　現役員・運営委員への寄附金の依頼について

別紙のとおりの呼びかけ文書を各位に会長名で発送する。10 周年事業を迎えるための必要な資金提供であり、当面の運営資金が乏しい中での今年度末までの応急的な補充を意図して、まず役員から呼びかけを始める。年明けの会報及びホームページ上にも寄附の呼びかけ記事を掲載する予定。（齊藤事務局長）

寄附金については、その目的となる明確な主旨、目標額、使途等が示されなければ応じにくい。依頼文書には緊急性の訴えや目標額は記されていないが、第 1 号議案で示したように本年度中の予定収入には予定額を提示した。（齊藤事務局長）

以上、現役員・運営委員への寄附金の依頼について全理事一致して承認された。

第 5 号議案　名誉顧問に係わる定款改正（第 3 回定時総会予定議案）について

当該議案については今理事会の開催時間の関係で、定款に係わる「名誉顧問」に加え「名誉会長」「顧問」の設置を含め、次回１月理事会において議論することになった。

以上、当該議案は次回理事会において検討することが全理事一致して承認された。

第６号議案　その他

〇主な日独協会会費及び会員数一覧表からみる当協会の特徴として、若い団体だが会員数が比較的多く、ことに若者の数がとても多い。一方、歴史ある協会に比べ横浜という企業の多い地の利があるものの法人会員が少ない。ただし財務状況や事業規模については今回調査していない。資料のうち活発な活動をしている 12 協会の平均は 5,000 円となり、次回理事会においてさらに検討していくこととなった。なお、会員の年会費は定款で定められており、その改正はＮＰＯ法人総会の議決事項となっている。

以上、主な日独協会会費及び会員数一覧表について全理事一致して承認された。

以上により本日の議事を終了して、議長は閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

２０１８年１２月１４日

議　　長　早瀬　勇

議事録署名人　能登　崇

議事録署名人　向井　稔